

# 例会報告

## 「無患子(むくろじ)で無病息災ストラップづくり」

佐賀市 (2025.1.19)

「無患子」と書いて、ムクロジと呼ぶ。直訳すると“患わない子ども”。つまり、病気にならない子どもという訳だ。そして、ムクロジはムクロジ科に属する落葉高木。お寺や神社に植えられている場合は多い。今回、用意したのも社寺のものだ。

独特の面白い実は、最初は明るい茶色だが、時間が経つと濃い茶色へと変わる。振るとカラカラと音がするので、硬い果皮を剥くと中から直径1cm弱の真っ黒で硬い種子が出てくる。この実の果皮には殺菌・抗菌作用があるサポニンが含まれており、海外では「ソープナッツ」などと呼ばれ、水に溶けると発泡作用があるため、日本でも明治の頃までは石鹼代わりによく用いられたらしい。

さて、今回の主役は黒く硬い種子だ。身近では数珠の材料として、羽根突きの羽根に重りとして利用されている。この種子を使って飾りだけでなく無病息災への願いがこもったストラップを作ろうという活動だ。

まずは、ムクロジの実に穴をあける作業。ムクロジの実をよく観察してみると薄く線が入っているところがあり、そこに画びょうを刺す。発芽の時に割れるところだろうか、比較的穴が開きやすい。オリーブ油、不織布を使って磨き、ヒートンをねじ込みテグス系を通す。それから思い思いにカラフルなビーズを通していく。ムクロジの実を通したい場合は、工作室のボール盤（電気ドリル）を借用させてもらい、穴を貫通させる。各自かわいらしい素敵なストラップが完成した。材料はムクロジ以外はすべて百均ショップで揃うので、ぜひ家庭でもチャレンジしてほしい。

少し時間にゆとりがあったので、カラスウリの種子を使ったお守りを作った。カラスウリの種の形状が打出の小槌や大黒様に似ているところから、金運アップのお守りとして扱われてきたという。流れ作業で大量にできたので、お土産として多めにお持ち帰りいただいた。

この一年が健康で金運にも恵まれますように…、なんとも欲張った例会となった。

(参加者：24名 文責：井上英史)



無患子について井上先生より説明



さっそく製作開始！



作業工程をパシャ！



指が大きいお父さんにはちょっと・・・



ボール盤で穴を開けよう



完成したよ



親子で楽しくできました



飾りをたくさんつけたよ



参加者のムクロジアクセサリー



ガラスウリ種子のお守りづくり